

皆さん、こんにちは。そして、吹奏楽部の皆さん、東日本学校吹奏楽大会への出場、おめでとうございます。9月11日に行われた西関東大会で金賞を受賞したと、太田先生から報告を受けたのは、土曜日の夕方6時のことでした。私は、全国大会出場の知らせを聞いて、飛び上がらんばかりに喜び、休みの日でしたが、すぐに学校のホームページにうれしい知らせをアップしました。すると、週明けの月曜日には、吉川市始まって以来の快挙に近隣の学校の校長先生から、おめでとうという電話がありました。頑張ったのは、生徒と顧問の先生なのに、なんだか私まで褒められたような気がして、皆さんがとても誇らしかったです。

さて、その9月11日の関東大会ですが、コロナの関係で演奏者しか会場に入らず、たとえ校長先生でも、皆さんの演奏を見ることはできませんでした。なので、私は皆さんの練習を邪魔しないように、こっそりと演奏を聴きに行きました。それは、9月9日のことです。廊下で静かに耳を立てて聞いていると、自然と涙があふれてきそうな演奏に聞き入りました。それと同時に、いったい何回練習をしたのだろうとも思いました。数百回、数千回の練習を繰り返し、チューニングにこだわり、呼吸にこだわり、集中力を高め、演者としての高みを目指し、努力し続けた結果が2000を超える中学校でわずか6校しか出場できない全国大会出場に実を結んだのだと思います。そして、それと同時に、この素晴らしい演奏を全校生徒に聞かせてあげたいとも思いました。これまでの予選会は、コロナの関係で観客なしでの演奏でしたが、全国大会はお客さんも入ると聞いています。吹奏楽部の皆さんにとっても、聞く人がいるという条件での練習になるはずです。全国大会での演奏はたった1回です。これまでの数千にもおよぶ練習は、そのたった1回の演奏のためにあります。今日は、その1回だと思って、全校生徒に感動を与えてください。全国大会出場、本当に、本当におめでとう。以上で、私の話を終わりにします。